FREE PAPER あさクリ
ASANO CLINIC IN SOJA
年をとっても 病を持っても 今を生きる 苦労の支援をする情報紙
No.67 10 2021

予防接種

予防接種とは、病気に対する免疫をつけたり、免疫を強くするために、ワクチンを接種することをいいます。接種した方が病気にかかることを予防したり、人に感染させてしまうことで社会に病気がまん延してしまうのを防ぐことを主な目的としています。病気にかかったとしても、ワクチンを接種していた方は重い症状になることを防げる場合があります。

参考：厚生労働省 HP 予防接種情報

VACCINATION

予防接種の大切な3つの目的

1. 自分がかからないために
2. もしかかっても症状を軽くするために
3. 家族やまわりの人にうつさないために

予防接種法に基づく定期接種のワクチン

誰もが受けるべき予防接種（A類疾病）

人から人に伝染する、又は病状の重篤になるおそれがあることから集団での予防が必要なもの
（病気によって接種時期・期間が決まっています）

- ジフテリア・百日せき・破傷風・急性灰白髄炎（ポリオ）
- B型肝炎
- Hib感染症
- 小児の肺炎球菌感染症
- 結核（BCG）
- 麻しん・風しん
- 水痘
- 日本脳炎
- ヒトパピローマウイルス（HPV）感染症
- ロタウイルス

費用の一部に公費負担がある場合の予防接種（B類疾病）

個人の発病又はその重症化を防止
併せてそのまん延予防に必要なもの

●季節性インフルエンザ

インフルエンザワクチンは、インフルエンザの流行期の12月～3月の前の毎年10月頃から接種が開始されますので、流行前までに接種を終了させましょう！

（費用の一部助成は満65歳以上方と、60歳～64歳の方でも病気や障害により対象になる方もいます）

●高齢者の肺炎球菌感染症

A肺炎球菌ワクチンは、日本人の死因第3位です。65歳以上に多い感染症で肺炎球菌によるものが最も多いです。肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌による肺炎などの感染症を予防し重症化を防ぐワクチンです。効果は5年以上持続するといわれています。

（費用の一部助成は65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の人方と、60歳～64歳の方でも病気や障害により対象になる方もいます）

● 新型コロナウイルス ワクチン

新型コロナウイルス感染症の**緊急のまん延予防の観点から実施**するものです。（厚生労働省新型HP:コロナワクチンについて）

あさクリ コラム
COLUMN
「プライマリ・ケア」
by 院長 浅野

「子宮頸がんワクチン」とよく耳にするHPVワクチンは2013年4月から国の定期接種の予防接種となりました。子宮頸がんのほとんどは、A類疾病のヒトパピローマウイルス（HPV）というウイルスの感染が原因といわれています。HPVワクチンはそのウイルスの感染を防ぐ目的としており、日本産婦人科学会をはじめ多くの団体が、子宮頸がん検診による早期発見・早期治療に加えて、HPVワクチン接種による子宮頸がんの発症予防の必要性を発信しています。